

「言葉の光があなたと共に」
ヨハネによる福音書 1章 1-9,14 節

2022.12.25

●**アウトライン**

1. ヨハネのクリスマス

- ・ヨハネによる福音書の「ヨハネ」という人
- ・ヨハネが語るイエス・キリストの降誕
- ・「ポストトウルース」の時代の中で

2. 命を与える神の言（キリスト）

- ・「言葉」ではなく「言（ロゴス）」が表す意味
- ・「言の内に命があった」（4 節）
- ・人はパンだけで生きるものではない。

3. 言葉の光があなたと共に

- ・私たち人間を照らす光イエス・キリスト
- ・混沌と闇に包まれた世界の中で
- ・「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。」（14 節）
- ・主イエスは命の光を与えるために、私たちの心の扉の前まで来られている。

●**聖書箇所**

【マタイによる福音書 4 章 4 節、新約聖書 4 ページ】

「イエスはお答えになった。『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つの言葉で生きる』／と書いてある。』」

【ヨハネによる福音書 6 章 35 節、新約聖書 175 ページ】

「イエスは言われた。『わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。』」

【ヨハネによる福音書 8 章 12 節、新約聖書 181 ページ】

「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」